

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | | | | |
|-----------------------|--|--------------|-----|-----------------------|
| 1. 研究課題名 | Dual-energy CTによるリンパ節転移予測と予後規定因子から考える側方郭清の適応 | | | |
| 2. 対象患者 | 1994年から2017年までに側方リンパ節郭清を行い、治癒切除が得られた下部直腸癌379例です。Dual-energy CTは2015年5月から2017年6月の間に計25例施行しました。 | | | |
| 3. 対象となる期間 | 1994年1月～2017年6月 | | | |
| 4. 実施診療科等 | 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 | | | |
| 5. 研究責任者 | 氏名 | 佐藤健太郎 | 所属 | 弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 |
| 6. 研究の意義 | 当科での直腸癌治療成績と特殊な撮影方法であるDual-energy CT検査から、直腸癌側方リンパ節転移の予測因子と側方郭清の適応を考察し、今後の診療方針決定の一助といたします。 | | | |
| 7. 研究の目的 | 近年、Dual-energy CTというCT検査で大腸癌のリンパ節転移を予測する試みがなされています。本研究の目的は、Dual-energy CTが直腸癌のリンパ節転移の予測に有用かを検討し、また私たちが行った300人以上の患者さんのデータを加え、現在の治療方針が適切か(側方リンパ節郭清という手技が必要か)を検討することが目的です。 | | | |
| 8. 研究の方法 (使用する資料等) | 診療録を利用し、病歴、年齢、身長、体重などの臨床所見、直腸癌の病理所見、術式、合併症などの手術関連情報を利用します。またDual-energy CT検査のデータを使用し転移リンパ節の特徴を解析します。 | | | |
| 9. 個人情報の保護 | 本研究の結果を統計学的に解析し、学会発表として公表させていただきます。公表の際にはデータをすべて匿名化し、個人の特特定ができないよう配慮いたします。個人情報の漏洩がないようデータは厳重に管理いたします。 | | | |
| 10. 利益相反に関する状況 | 本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。 | | | |
| 11. 問い合わせ先 | 弘前大学消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 | | | |
| | 電話 | 0172-39-5079 | FAX | - - |